

郡制廢止法律案件一特別委員會議事速記錄第一號

付託議案

郡制廢止法律案

府縣制中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵柳原 義光君

副委員長 小松原英太郎君

子爵今城 定政君

一木 喜德郎君

谷森 真男君

關 清英君

山田 春三君

阪本鉄之助君

森田庄兵衛君

大正三年三月十八日(水曜日)午前十一時三十一分開會

○委員長(伯爵柳原義光君) 是ヨリ郡制廢止法律案ノ委員會ヲ開キマス

○一木喜德郎君 直チニ質問シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳原義光君) 宜シウゴザイマス

○一木喜德郎君 此案ハ衆議院ノ提出ニ係ル案ア、政府ガ之ニ同意ヲ表シテ居ラルコトハ、本議場ニ内務大臣ノ御説明ニナシタ通リノモノニアリマス、而シテ此案ハ如何ナル趣旨ニ依シテ提出ニナシテ居ルカ、又衆議院ニ於テ可決ニ至ッタノハ、ドウ云フ理由デアルカト云フコトヲ承知イタシタイ爲ニ、詳細委員會ノ會議錄ヲモ取調べテ見マシタガ、ドウモ私ノ見ル所デハ提案者モ、慎重ニ調査ノ上デ提案シタモノデナイヤウデアリマス、現ニ或ル議員ヨリ提案者ノ説明ヲ承シテ見ルト、殆ド策略的ニ之ヲ出シタヤウニ聞エルガドウカト云フ質問ガアリマシテ、之ニ對シ提案者ハ策略的ト云フコトハ少シ語弊ガアルガ、提案權ガアルカラ發案シタ云フヤウナ答テアッテ、隨シテ提案者ヨリ他ノ委員ノ質問ニ對スル答モ、頗ル明瞭ヲ缺イテ居ルヤウデ、如何ナル理由ヲ以テ提案シタ云フコト、又之ヲ實行シタ結果トシテ現在ノ財産營造物等ヲ如何ニ處分スルカ、是等ノ點ニ付テ段々質問ノアリマシタニ對シマシテモ、夫等ノコトハ十分ニ調ヘテ居ラスト云フヤウナコトが往々見エルノデアリマス、又政府ニ於テハ此案ニ御同意ニナシテ居リマスケレドモ、現ニ過日本議場ニ内務大臣カラ言ハレタ如ク政府ハ考慮中ニアッテ、併シ既ニ政府カラ曾テ郡制廢止案ヲ提出シタコトモアルカラシテ、衆議院カラニヨリ提出ニナシタ場合ニハ、之ニ贊成ヲスルト云フ辯明デアリマシタ、尙ほ政府委員が衆議院ノ委員會ニ於テ此案ベラレタ所ヲ見マシテモ、曩ニ郡制廢止案ヲ政府ヨリ提出シテ以來已ニ數年ヲ經過シテ居ルコトデモアリ、其後ノ情況ヲ能ク調査シテ見、且又地方ノ情況ニ付テ研究ヲ遂ゲタ上デナケレバ、政府カラ此案ヲ提出スルコトハ出來ナイ、隨シテ今日マテ政府カラハ提案セヌノデアル、然ルニ衆議院議員ヨリ之ヲ提出ニナシタ以上ハ、固ヨリ曾テ政府モ提出シタコトガアルカラ、之ヲ贊成スルト云フ説明デアル、即チ政府ニ於テモ、今回此案ニ對シテ同意ヲ表スルニ付テ、特ニ調査ヲシタノハナイカラ、政府ノ調査モ亦不十分ト見エル、斯様ナ次第デアルノミナラ

ズ、之ニ贊成スル所ノ委員ノ言ハレタ理由ヲ調べテ見マスルト云フ、中ニハ斯ウ云フ理由ガアル、即チ郡ニ事業ヲヤラシテ居ルト云フコトハ非常ナ弊害ガアル、ト云フノハ郡費ト云フモノハ地價ノミニ依シテ徵收スルノデアル、地價ノミニ標準トシテ徵收スルカラ、從テ負擔が不公平ニナシテ來ル、府縣費ナリ斯ウ云フモノハ負擔公平ヲ得ルコトが出來ル、故ニ郡制ヲ廢止スルが可イト云フヤウナ贊成論モアル、然ルニ實際今日ノ郡制ニ依リマスレバ、私ノ記憶スル所ニ依レバ、決シテ單ニ地價ノミニ標準トシテ郡ノ費用ヲ分賦スル譯ハナイ、即チ其府縣内ノ府縣稅町村稅、ソラ標準トシテ分賦スルヤウニ思ヒマス、且又地方ノ情況ニ依テハ、特別ノ分賦法ヲ設ケルト云フコトモ出來ルヤウナ途が開イテアルノデアリマス、シテ見マスルト單ニ地價ノミニ標準トシテ分賦スルカラ負擔が不公平ニナル、負擔が不公平ダカラ郡制ヲ廢メルト云フノハ、土臺根本ヲ誤シテ居ル、斯様ナ次第デアッテ私ノ見ル所デハ、提案者モ十分ノ調査ヲシタモノデナク、政府モ亦此際特ニ十分ノ調査ヲシタモノデナク、之ヲ贊成スル所ノ委員ノ意見モ亦往々十分ノ調査ヲ缺イテ居ルカノヤウニ思ハレマス、私ハ敢テ衆議院ノ委員會ノ經過ヲ批難スルノデハアリマセヌガ、事實サウ云フ經過ノヤウニ見エルノデアリマス、隨シテ私ハ此提案者ノ提案セラレタ理由ナリ、贊成者ノ贊成セラレタ理由ナリ、其他ノ點ヲ調査シヤウト思ヒマスルニ當ツテ、頗ル了解ニ苦シムコトガ多イノデアリマス、要スルニ此郡制廢止ノ趣旨ハ、何レニ在ルカト云フコトヲ承知イタシタイ爲ニ、詳細委員會ノ會議錄ヲモ取調べテ見マシタガ、ドウモ私ノ見ル所デハ提案者モ、慎重ニ調査ノ上デ提案シタモノデナイヤウデアリマス、現ニ或ル議員ヨリ提案者ノ説明ヲ承シテ見ルト、殆ド策略的ニ之ヲ出シタヤウニ聞エルガドウカト云フ質問ガアリマシテ、之ニ對シ提案者ハ策略的ト云フコトハ少シ語弊ガアルガ、提案權ガアルカラ發案シタ云フヤウナ答テアッテ、隨シテ提案者ヨリ他ノ委員ノ質問ニ對スル答モ、頗ル明瞭ヲ缺イテ居ルヤウデ、如何ナル理由ヲ以テ提案シタ云フコト、又之ヲ實行シタ結果トシテ現在ノ財産營造物等ヲ如何ニ處分スルカ、是等ノ點ニ付テ段々質問ノアリマシタニ對シマシテモ、夫等ノコトハ十分ニ調ヘテ居ラスト云フヤウナコトが往々見エルノデアリマス、又政府ニ於テハ此案ニ御同意ニナシテ居リマスケレドモ、現ニ過日本議場ニ内務大臣カラ言ハレタ如ク政府ハ考慮中ニアッテ、併シ既ニ政府カラ曾テ郡制廢止案ヲ提出シタコトモアルカラシテ、衆議院カラニヨリ提出ニナシタ場合ニハ、之ニ贊成ヲスルト云フ辯明デアリマシタ、尙ほ政府委員が衆議院ノ委員會ニ於テ此案ベラレタ所ヲ見マシテモ、曩ニ郡制廢止案ヲ政府ヨリ提出シテ以來已ニ數年ヲ經過シテ居ルコトデモアリ、其後ノ情況ニ付テ研究ヲ遂ゲタ上デナケレバ、政府カラ此案ヲ提出スルコトハ出來ナイ、隨シテ今日マテ政府カラハ提案セヌノデアル、然ルニ衆議院議員ヨリ之ヲ提出ニナシタ以上ハ、固ヨリ曾テ政府モ提出シタコトガアルカラ、之ヲ贊成スルト云フ説明デアル、即チ政府ニ於テモ、今回此案ニ對シテ同意ヲ表スルニ付テ、特ニ調査ヲシタノハナイカラ、政府ノ調査モ亦不十分ト見エル、斯様ナ次第デアルノミナラ

○政府委員(水野鍊太郎君) 御答ヲ致シマス、此提案ソレ自身ノ規定カラ見マシテモ、郡制ナル主體ヲ廢止スルノデ、郡役所マデ廢スル意味ノナイコトハ明テアリマス、唯衆議院ニ於キマシテ其點ノ提案者ノ意思が多少不明瞭ニアリマシタガ、結局スル所此法案ハ郡ノ自治體ヲ廢スルニ在リテ、郡役所ノ廢止ニ非ざルコトハ明瞭グラウト思ヒマス、政府ニ於テモ亦同一ノ考テアリマス、即チ郡制ヲ廢止シテモ郡役所ヲ廢止スルノデハナイ、郡役所ノ廢止ハ今日ノ状態ニ於テ行フカラサルコト考ヘテ居リマスカラ、郡制廢止ハ其必要アリト見マスガ、郡役所ノ廢止マテ、必シモ進ンテ行カウト云フ譯デハナ

イト云フヤウナコトガ、最モ重モナル理由デアッタヤウニ私ハ記憶イタスノアル、然ルニ
來今日迄ノ經遇ヲ見マスト云フト、私ノ地方財政要覽ニ依ツテ調ベタ所ヲ根據トシテ
申シテ見マスト、郡ノ事業ハ爾來餘程ノ發達ヲ遂ゲタ、此前郡制廢止案ヲ提出ニナッ
タ時分ニ、政府ヨリ頂戴シタ材料ニ據リマスレバ、當時ニ於テハ郡費ガ三百八十万圓
デアッタ記憶イタシテ居リマス、然ルニ今日デハ千万圓以上ニ達シテ居リマスカラ、郡ノ
將來ハ發達スルノ望ミノナイト云フコトハ事實ガ反證シテ居ルヤウニ思フ、ノミナラズ衆
議院ノ委員會ニ於キマシテ、或委員ノ意見中ニハ、郡制ヲ此儘ニシテ置クト郡ノ事業
ガ段々殖エテ來ル、段々殖エテ來レバ益、郡制ノ廢止ハ困難ニナツテ來ル故ニ、寧ロ成ル
ベク速ニ之ヲ廢スルが宜シトイフヤウナ意見スラ見エテ居ルヤウニ思フ、ノミナラズ衆
キハ甚ダ理由ヲ解スルニ苦シムノデアッテ、即チ郡ノ事業ガ、郡制ヲ存續シテ行ケバ、益、發
達シテ郡制ヲ廢止スルコトガ出來ナイヤウニナルト云フコトハ、取モ直サズ郡ハ將來益、
發達スルト云フコトヲ認メルコト考ヘル、郡ガ發達スルヤウニナルノハ、郡制ハ佳良ナル
制度テ、事業ヲ起ス上ニ於テ郡ヲ利用スルガ都合ガ宜イカラ發達スルノデアル、然ニ發達
スルカラ之ヲ早ク廢止セネバライラヌト云フノハ、了解ニ苦シムノデアリマスガ、要スルニ斯ノ
如キ議論ハ、段々郡ガ發達シテ行クト云フ事實ガアルカラデアル、ソコデ私ノ政府ニ御願
ヒ致シタインハ、地方財政要覽ノ調ハ少シ舊イヤウデアリマス、又概略ニ止マツテ詳細ノ
コトガアリマセヌカラ、郡費ノ數年間ノ比較ヲシタモノ、及ビ其ノ内譯ヲ頂戴シタイ、是ハ
衆議院ノ委員會ニ於テモサウ云フ要求ガアッテ、其ノ要求ニ應ゼラレテ居ルヤウデアリマス
カラ、定メテ御調べニナツタモノガアラウト思ヒマス、其ノ御調べヲ頂戴シタイ、其中ニハド
レダケノ費目ニ依ツテ區別シテ數年間……五年トカ七年トカ、タシカ七年間ノ御調べガ
アルヤウニ思ヒマスガ、ソレト郡立ノ學校ノ種類、是モ衆議院ノ委員會ヲ要求ガアッテ、政
府カラ調ベタモノヲ御提出ニナツタヤウニ承知シテ居リマス、ソレカラ勸業費ノ内譯、是が
アレバ承ハツテ置キタイ、是ハ御調べガ出來ナカッタカドウカ一承知シマセヌガ、巡回教師ノ
數トカ云フヤウナモノガ、御調ガアレバ伺ヒタインデアリマスガ、是ハ強ヒテデハゴザイマセヌ
○政府委員（小橋一太君）第一ノ御要求ノ郡費ノ數年前カラノ調ハ、衆議院ノ要
求ニ應ジテ出シマシタモノガアリマス、即チ明治四十年度カラ大正二年一度迄ノ郡費ノ調
ガアリマスカラ差上ヶマス、ソレト郡ノ事業調ハ、重モナル事業ヲ調ベマシテ事業ノ數、即チ
學校圖書館或ハ病院ト云フヤウナ事業ノ個數ヲ調ベテ、衆議院ニ出シタモノガアリマス
カラ之ヲ差上ケルコトニ致シマス、ソレカラモウ一ツ巡回教師水產教師等ニ付テノ要求
ガ、衆議院カラゴザイマシタケレドモ、是ハ郡ノ豫算ノ報告ヲ取ツテ居ルベカリデアリマシ
テ、水產技手トカ水產技師ト云フモノ、數ハ實ハ報告ヲ取ツテ居リマセヌ、農商務省ノ
算ノ報告ニ依リマシテハ、補助費トノ關係ガアリマスダケデ……

○一木喜徳郎君 唯今政府委員ヨリ申サレマシタ、調べガ困難デアルト云フ部分ハ要
求致シマセヌ、大ナル御手數ヲ煩ハスニモ及ビマセヌ、差控ヘマス、ソレカラ次ニ伺ヒタイン
ハ、郡ヲ廢シタナラバ組合ノ設ケガナケレバナラヌト云フコトハ、政府ニ於テモ認メラレル所

デ、是ハ誰モ認メナラヌト思ヒマス、組合ノ數ハ何程ニナルカト云フコトハ、確ニ推算ヲ取ルコトハ到底出來ナイダラウト思ヒマスガ、其参考トシテ見ラレルデアラウト思ヒマスノハ、初メ郡制ヲ制定シタ際ニ、必ズ其調ガアツタラウト思ヒマス、其當時ニ於テ全郡ノ組合ノ數、全郡町村ノ組合數ガ専レ位アツタカ、是ハ舊ヒコトデアルカラ、御調ガナイカモ知レマセヌカラ、無ケレバ宜シウゴザイマスガ、私ノ記憶デ二百九十九、三百近イモノデアツタト思ヒマス、何カサウ云フ御調ガアレバソレヲ御示シヲ願ヒタイ、若シ其數が非常ニ多いモノデアルト、其ノ當時ニ於テスフモ既ニ全郡ニ涉ル組合が是位アツタ、今日ニ於テ郡がナカツタラ、其ノ組合ノ數ハ専ホ一層多クナリハセヌカト思ヒマスカラ其ノ數ヲ承ハリタイ、先キニ郡制廢止ヲ政府カラ提出ニナツタ時分ニハ、各地方官ノ手ヲ經テ調ベラレタ所ノモノニ依シテ、二百五十五モアンダラ宣シカラウト云フ御説明モ承ハシタコトガアリマスガ、然ニ其ノ當時ハ郡ノ費用ハ三百八十万圓位ニアツタガ、今日ハ千万圓以上ニナツテ居ル、シマスレバ其ノ當時ニ比シテ事業が大ニ増シテ居ルコトハ明瞭デアリマスガ、當時二百五十ノ組合テ足レリストルモノニアレバ、或ハ今日ハ其ノ倍數ニモナラナケレバナラヌト云フ道理が出来ルカモ知レナイ、ケレドモ是ハ當局者ニ要求シテモ、ドノ位アツタ、宜カラウト云フ御見込ヲ御立テニナルコトハ困難デアラウト思ヒマス、此前ハ二百五十五モアンダラ宣ト云フコトヲ政府ハ明言ハ出来マスマイト思ヒマスカラ、是モ要求シタイトハ思ヒマスガ、無理ダト思ヒマスカラ、唯郡制制定ノ當時、専レ位組合ガアツカト云フコトガ、舊イ書類カ何カデ分リマスレバソレヲ云フコトヒタイ

○政府委員(小橋一太君) 第一ノ御要求ニナツタノハ此處ニ持ツテ參ツテ居リマセヌガ、多分取調べタナラバ、其内容ガ分ルダラウト思ヒマスカラ取調べテ御答ヲ致シマス、ソレカラ是ツヅゴザイマセヌガ、矢張リ此前ノトキニ組合數ノ見込ヲ地方長官カラ取ツテアリマスカラ是モ附ケテ上ゲマス、是モ大體二百五六十ト思ヒマス

○一本喜徳郎君 尚ホ續イテ伺ヒマス、此郡制ヲ廢セバ費用ガ大ニ減ルカドウカト云フコトハ一ノ問題ニアリマス、私共ノ見ル所ニ依シテ違ヒマスガ、要スルニ其費用が減ルカ減ラヌカト云フコトハ、今日現在ヤツテ居ル事業ガ無用ノモノデアルカドウカト云フコトニ依シテ分レルコトアラウト思ヒマス、尤モ今ノ會議ノ費用トカ、官吏ノ費用トカ云フモノハ別トシテ、事業ノ費用が減ル減ラヌト云フコトハ、事業其モノが無用カドウカト云フコトニ依ツテ決マラウト思ヒマス、我ミノ見ル所デハ無用ノモノハアルマイト思フケレドモ、専ホ整理ノ餘地ガアルカ、若シ整理ノ餘地が無イカドウカ、ソレハ假令ヘ郡ガヤラヌニ拘ラズ、郡ガヤツテ居リマシテモ整理ハ出來ルダラウト思ヒマス、ソレカラ参考ニ伺ヒタインハ昨年デアリマシタカ一昨年デアリマシタカ地方ノ行政、財政ノ整理ト云フコトガ世ノ問題ニナリ、又政府ニ於テモ行政財政ノ整理ヲ行フト云フ方針ヲ執シテ種々御盡力ニナツタコトハ承知シテ居リマス、其際内務省ハ地方ニ對シテ大ニ政費ノ節約ヲセヨト云フコトヲ御訓令ニナツタヤウニ承知シテ居リマス、其結果府縣費、市町村費、郡費ニ於テ餘ホド節約ヲ加ヘラレタヤウニ考ヘマス、ソレデ出來ルダケ地方ノ不必要ノ費用ヲ省クコトニ御努メニナツタコト、思ヒマスガ、其結果トシテ郡費ハドノ位増減シテ居リマスカ……増スコトハアリマ

スマイガ、ドレ位減ジテ居リマスカ、即チ其前ニ於テノ郡費ハドレ位、整理後ノ郡費ハドレ位ト云フコトノ比較ヲ見ル表ヲ御示シヲ願ヒタイ

○政府委員（小橋一太君）其數字ハ取調ベラゴザイマスカラ差上ダマスガ、整理ノ結果ニ依リマシテ府縣費、郡費、市町村費ニ於テ全部比較シテ減ジタノハ郡費が著シク減ジテ居リマス、市町村費、府縣費ニ於テ増加ノ程度ハ市町村費ノ如キハ少イ部ニアルト云フコトノ情況ニアリマス、今ノ御尋ノ點ハ郡費ダケデ宜シウゴザイマスカ

○一木喜徳郎君 序ニホカノモ、市町村、府縣ノモ願ツテ置キマス、尙ホ續イテ伺ヒマスガ、矢張リ郡制ヲ廢シタラ經費ガドレダケ節約ニナルカト云フ問題ニ關聯シテ居リマスガ、モスルト補助費ト云フモノハ無用ナモノデアル、郡制ヲ廢止スレバ郡ナ出シテ居ル補助費ハ悉ク節約ニナルカノ如キ議論ヲ能ク聞キマスガ、是ハ私共ノ見ル所トハ大ニ違フカラ、ソレニ付イテ伺ヒタイ、郡ナ現在補助シテ居ルノハ市町村費、或ハ農會ト云フスウ云フ團體ニ補助シテ居ルモノガ、多イノアラウト想像シマシタモノヲ削リマスレバ、今迄郡ナ負擔シテ居ツタモノガルナラバ市町村ニ對シテ補助シマシタモノヲ削リマスレバ、今迄郡ナ負擔シテ居ツタモノガ變ジテ市町村ノ負擔ニナルト云フコトダケデ、費用ニ於テハ別ニ節約ニナルコトハ無イ、又農會ニ補助シテ居ツタモノガ、若シ無クナツタスレバ郡農會ハ何等カノ方法デ其費用ヲ徵收シナケレバナラヌ結果ニナル、即チ郡ノ負擔が農會ノ負擔ニ移ルダケデ、之が爲費用ノ節約ニナルコトハ無イト考ヘマス、其他若シ個人ニ對シテ補助シテ居ルモノガアレバ、ソレが必要ナルカ否ヤト云フコトニ依テ、其費用ガ省ケルカドウカト云フ問題が決マリマス、若シ其個人ニ對シテ補助が必要ナリトシマスレバ、郡ガ止メシテモホカデヤラナケレバナリマセヌ、又必要無シトシマスレバ郡ガ存在シテ居リマシテモ、斯ノ如キ不必要ナ費用ハ地方財政整理ノ目的カラ、節約シテ止メナケレバナラヌコトニナリマスカラ、郡ガ廢止ニタカラ補助費が減ルトカ或ハ補助費が無クナルト云フコトハ、全ク道理ノ無イ考ヘト思フノアリマス、世間動モスルトサウ云フ考ヘガアルヤウデアリマス、私ノ伺ヒタイト申シマスノハ表ニ依テ御示ヲ願ヒマスノハムツカシイト思ヒマス、ソレデ大體ノ御見込デ宜シウゴザイマスガ、郡ナ補助シテ居ルノハドンナモノデアルカ、團體ニ對スルモノカ、若クハ個人ニ對スルモノカ、個人ニ對スルモノガアレバドンナ性質ノモノカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員（水野鍊太郎君）郡ガ其下級團體ノ町村若クハ他ノ公益ノ法人ニ補助ヲ爲シツ、アルコトハ事實デゴザイマス、然カモ其費額ハ郡費ノ約一割ヲ占メテ居ル情況デアリマス、ソレデアリマスカラ如何ナルモノニ補助シテ居ルカト云フ補助シテ居ルモノノ費目モ分ツテ居リマス、ソレハ全國ニ付イテ調ベタモノガアリマスカラソレヲ御覽ニ入レマス、ソレハ表ニ御覽ニ入レマスレバ分リマスガ、此際チヨット申上ゲテ置カウト思ヒマス、是ハ實ハ郡費ノ中デ補助費が約一割ヲ占メテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、豫算分科會ノ時ニ其コトヲ申シマシタラ岡田君ノ御質問ガアリマシタノデ、唯今一木君ノ御述ベニナル所ニ依リマスルト、補助費ナルモノハ矢張リ補助費ヲ受ケル事業が必要ナコトデアッテ、町村ノ事業ナリ他ノ法人ノ事業ナリ、必要ナ事業ナラバ、補助スルノハ郡ガ廢止ニナツテモ他ノ團體カラ其所ニ費用ヲヤツテ之が經營シテ行カナケレバナリマセヌカラ、詰リ費用ノ轉嫁デアッテ同ジヤウナコトニ歸シハシナイカト云フ斯様ナ御質問ノヤウニ聞キマシタガ至極御尤

ト思ヒマス併シ地方ノ實況ヲ御承知ノ御方ハ能ク御了解ニナツテ居ラウト思ヒマスデ、特ニ私カラ申述ル必要モゴザイマセスガ、今日補助費ト云フモノハ實ハ種々ナ弊害ガアルノデアリマス、謂ハユル各種ノ事業ニ對シテ補助費ノ分捕ノ弊害ト云フモノハ、何人モ地方ノ事務ニ從事シテ居ル者ハ認メテ居リマス、地方ノ知事カラ出シタ意見中ニモ其コトハ言フテ居リマス、併シ其事必ズシモ利益ノ無イコトニミテハ無イノデゴザイマセウケレドモ、必ズシモ補助ヲソレホド迄與ヘマセヌテモ宜、イト云フコトガ分リマス、郡ナル團體ガアル爲ニ補助費分捕ト云フ事實が生ジテ來マス、各費目ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、如何ナルモノニ郡費デ補助ヲ與ヘテ居ルカト云フコトガ分リマス、是ハ今日ノ通弊デアラウト思ヒマス、サウ云フコトハ財政整理ト云フカ行政整理ト云フコトデ、取締ツタラ宜カラウト云フコトデアリマス、ソレハ私共モサウシナケレバナラヌコト考ヘテ居リマス、併シ是ハ必ズシモ理屈ノミテ言フ譯ニハ參リマセヌ、此所ニハ地方ノ事情ヲ御承知ノ方が多數御出デゴザイマスカラ、御承知デゴザイマセウガ事實其通リテ已ムヲ得ヌノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ若シ郡ナル團體ガ無ケレバ、ソレ程ノ補助ヲ要求シナシ、又補助ガ無ケレバ、其事業ハシナインデモ宜イト云フコトニ補助ヲスルト云フ事情モアル、是ハ地方ノ事情ニ基クコトモアリ場合ニ依レバ、黨争ノ結果モアリマセウ、サウ云フコトデ郡ナル團體ガアル爲ニ、サホド必要ナラザル事ニ補助ヲ受ケルコトガアル、是ハ事實ノ問題デアリマス、理窟ノ問題デナイ、サウ云フヤウナ狀況デアルト私ハ考ヘテ居リマス、是ハ豫算分科會ニ於テ御話ガアリマシタカラ、一應申上ゲテ置キマスガ、今其費目等ヘ取調ベマシテ更ニ御覽ニ入レヤウト思ヒテ居リマス

○一木喜徳郎君 唯今政府委員ノ御説明ヲ承ツテ、一應御尤ト思ヒマスガ、其補助費ニ關スル弊害ト云フコトハ私共モ認メテ居リマス、ト云フノハ獨リ地方バカリデアリマス、中央ニ於テモ豫算問題トシテ斯ウ云フ弊害が往々アル、現ニ今年產業獎勵基金法ト云フモノヲ衆議院ニ御提出ニナリマシテ、今本院ニ於テ審議中デアルカラドウ云フコトニナルカ分リマセヌガ、此補助費ト云フモノノ使ヒ方ニ付イテハ、餘ホド慎重ナル考慮ブシナケレバナラヌ、又其ノ局ニ當ル者竝ニ監督ノ任ニ當ル者ハ、十分注意シナケレバナラヌコトデゴザイマス是ハ獨リ郡ニ限ツタ弊害ト考ヘマセヌ、町村ニモ府縣ニモ國ニモ其弊ガアリマセウ之ヲ取締ルコトガ出來ヌカラ團體ヲヤメルト云フニ至ツテハ私ハ其理由ヲ解スルニ苦ム、併ナガラソレハ意見ニ涉リマスカラ申シマセヌガ、尙ホ費用ノ節約ニ付イテハ種々議論ガアリマス、例ヘバ基本財產ノ積立ニ付イテ、郡ト云フ團體ガ無クナレバ基本財產ノ積立ガ要ラナクナル、サウスルト費用ノ節約が出來ルト云フ論ガアル、基本財產ヲ積立テルノハ何ノ爲テアルカ、要スルニ將來增加スル所ノ費用ノ豫備テ、即チ他日ノ負擔ヲ輕クスル爲ニ現在ノ負擔ヲ重クスルノデアルガ、單ニ人民ノ負擔ヲ重クスルノデナイ、現ニ町村ニ於テ積立ヲ獎勵シテ居ル、府縣ニ於テモ獎勵シテ居ル、殊ニ近來災害ノ度ニ起ツテ來ルトキ事が起ツタ後ニアトデ負債スルト云フ方法ノ永ク續ケテ行クコトが出來ルカ、憂ブルノデアリマスカラ積立ヲ獎勵シテ行カナケレバナラスト思ヒマス、ソレデ郡デヤツテ居ル積立ハ他日ノ増加ニ對スル豫備デアルカラ、此積立ヲヤメルト人民ノ負擔ヲ輕クスルト云フノハ、現在ノ負擔ヲ輕クシテ將來ノ負擔ヲ重クスルコトニナル、之ヲ以テ郡制廢止ノ爲ニ生ズル經費ノ節約ト見ルコトハ誤ツタ考デハナイカト思ヒマス、ソレハ意見ニナリマスガ、補

助費モサウ云フ風ア、補助費ニ弊ガアルカラ郡制ヲ廢スル、郡制ヲ廢スレバ 補助費ノ弊
ガ無クナルト云フノハ、餘リ單純ナコトデアッテ了解ニ苦シム、弊ヲ生ズルノハ畢竟郡ノミ
ナラズ國モ何モ總テノ團體ヲ通シテ補助費ノ弊ガアル、其弊ヲ取締ラヌケレバナラスト云
フ理由ニナルケレドモ、決シテ其團體ヲ廢スル理由ニハナラヌト思フノデアリマス、是ハ少
シ政府委員ノ御説明ガアッタニ對シテ、意見ヲ述ベルヤウニナリマスカラモウ是デ止メマス、
ソレデ今ノ御調べガアルト云フコトデアリマスカラ、唯今ハ其御調ヲ頂戴スルコトヲ求メル
ダケニ止メマス……、私ハモウ自分ノ要求シマスルコトヲ一應申述べマシタカラ、又他日
更ニ要求イタスコトガアルカモ知レマセヌガ、唯今ノ所ハ是ダケニ止メテ置キマス

○關清英君

チヨット序ニ政府委員ニ御尋シテ置キマスガ、此郡デハ植林ナドハヤツテ居
ラヌノデスカ、茲ニハ見エヌヤウデアリマスガ、私ナドノ聞ク所ニ依ルト、或郡デハ大分ヤツテ
居ルカノ如クニ聞キマスガ……

○政府委員(小橋一太君) 造林事業ヲヤツテ居ルモノハダンヽ^クゴザイマス、ソレハ
「郡事業敷對照」ト云フ、御手許ニ差上ゲテアリマス萬葉刷リノ中ニ、是ハ造林事業ノ
箇所數デアリマスカラ金額ハアリマセヌガ、郡ニ於テ百二十七箇所經營シテ居ルト云フ
調ベニナシテ居リマス、是等ノ所ノ造林費ハ幾ラト云フコトハ別ニ調ベテゴザイマセヌ

○關清英君

郡ノ財產ノ御調ベガアリマセウガ、ソレヲ一々頂戴スルコトニ致シタイト思
ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君) 郡有財產デスナ

○關清英君

ハイ

○政府委員(小橋一太君) ソレハ今度新版刷ニシタモノガゴザイマセヌカラ、アトデ差
上ゲマス

○政府委員長(伯鶴柳原義光君)

府縣制ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君) ソレデハ府縣制改正ノ大體ノ要點ダケヲ申上ゲマス、
是ハ印刷イタシマシタ、府縣制改正要領ト云フモノヲ差上ゲテ置キマシタカラ、委シイコト
ハソレデ御覽ヲ願ヒタインデアリマス、一々ニ當リマシテハ却テ煩雜ニ涉リマシテ御迷惑デ
アリマセウカラ、極主要ノ點ダケヲ申上ゲヤウト思フノデアリマス、此度ノ改正案ハ一部
改正デアリマシテ、全部改正デハアリマセヌ、其改正ハ主トシテ三十二年以來實際ニ取
扱ツタ上ニ於キマシテ疑義ガ生ジタリ、又ハ紛争ラ來シタリシタコトガアリマシタ、其實況
ニ鑑ミマシテ改正ヲシタノガ一ツ、ソレカラ市制町村制が明治四十四年ニ改正ニナリマシ
タ、其規定ト歩調ヲ一ニスル爲ニ必要ガアルト認メマシテ改正ヲ企テタノガ一ツ、ソレカ
ラ今日ノ實況ニ鑑ミマシテ、是ハドウシテモスクセナケレバナラヌト認メマシテ改正ヲ企テタ
ノガ一ツ、斯ウ云フヤウナ理由カラ此度改正ヲ致サムトスルノデアリマス、而シテ其重モナル
府縣參事會員ノ選舉モ單記制ヲ採ルコトが適當ナリト認メマシテ、連記制ヲ改メテ單

記制トシタノデアリマス、ソレカラ其次ニ府縣參事會員ノ任期ニ變更ヲ企テタノデアリ
マス、今日ハ府縣會議員ノ改選每ニ之ヲ選舉スベシト云フコトガアリマシテ、即チ具體
シムル障礙ニナルノミナラズ、他ノ法令ニ於テモ多クハ今日單記制ヲ採ルテ居リマスカラ、
府縣參事會員ノ選舉モ單記制ヲ採ルコトが適當ナリト認メマシテ、連記制ヲ改メテ單
記制トシタノデアリマス、ソレカラ其次ニ府縣參事會員ノ任期ニ變更ヲ企テタノデアリ
マス、今日ハ府縣會議員ノ改選每ニ之ヲ選舉スベシト云フコトガアリマシテ、即チ具體

のニ申シマスレバ四年デアリマス、ソレヲ此度一年ニ直シタノデアリマス、是ハ何故ニ
年ニ直シタト云フコトニ付キマシテハ、少シ御聽フ願ヒタイノデアリマスガ、申スマデモ
ナク、地方ノ實情ニ御通曉ノ方ニハ、能ク御分リニナシテ居リマセウケレドモ、府縣參
事會ト云フモノハ、府縣ノ議決機關中デモ最モ勢力ノアルモノデアリマス、有形無形ニ
勢力モアリ利益モアルモノデアルガ爲ニ、府縣參事會員ノ選舉ト云フモノニハ常ニ競争
ガ多イノデアリマス、競爭ヲスル結果種々紛争モアルノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ府
縣參事會員ト云フモノノ任期ヲ長クスルガ宜イカ、短クスルガ宜イカト云フコトハ、餘ホ
ド問題ニアラウト思フ、一利一害ハ各アラウト考ヘマス、併ナガラ今日ノ實況ニ鑑ミマ
スルト、是ハ長クスル方ニ於テ弊ガ多クシテ利ガ少ナシト考ヘテ居リマス、此競爭ノ爲ニ
非常ナ紛争ヲ來スト云フコトモ一ツアリマセウケレドモ、長ク居リマス爲ニ利モアルト同
時ニ又弊モアル、其弊ガ利ヨリ多イト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ法律上認メタ
コトデモ何デモアリマセヌケレドモ、事實上ニ於キマシテ各府縣ニ私約交替ナルモノヲシテ
居ルノデアリマス、私約交替ト云フノハ申スマデモナク多クハ一年デス、二年毎ニ交替ヲ
スルト云フ約束ヲシテ居ルノデアリマス、法律上有効デアルカ無効デアルカ別問題デア
リマスガ、免ニ角事實サウ云フコトガアルト云フノが今日ノ實況デアリマス、私約交替ト云
フコトハ、是ハ法ノ上カラ見テ面白クナイノミナラズ、事實ニ於テ種々紛争ヲ來スノアリ
マス、期間が來テモ約束ヲ履行シナイトカ、責メレバ前ニ溯リテ如何ナルコトガアッタトカ、
種々ノ紛争ヲ來ス、ソレハナゼカト云フト四年間モ一人ガ府縣參事會ノ職ニアルト云フ
コトノ餘弊アラウト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、斯ノ如キ實情カラ見マシ
テ、寧ロ之ヲ短クスルガ利益デアラウ、而シテ短クスルナラバ何年ニスルカト云フコトニナリ
マスケレドモ短クスル以上ハ是ハ寧ロ一年トスルコトガ實際ニ於テ都合ガ好カラウ、今日
ノ如キ競争ノ弊モ防護コトが出來ルシ、私約交替ノ弊ヲ防護コトが出來ルシ、種々ノ紛
争ヲ來サルコトヲ得ルト云フコトニナラウカラ、一年トスルガ適當デアラウト考ヘマシテ、
是が任期ヲ一年ト致シタノデアリマス、ソレカラ次ニ、今日實際ニ於キマシテ種々紛争ノ起
リマスコトハ、府縣會ノ開閉ニ關スル議長ノ處置ナンデゴザイマス、今日ハ御承知ノ通り
府縣會議長ガ其日ノ開閉ノ權ヲ絕對ニ有テ居ル、議長一人デ以テ其日ノ會議ヲ組
合スルコトニナシテ居リマスルガ爲ニ、事情ニ依リマスト開カザルコトモアル、又開イテモ直
グニ閉ズルト云フコトモアル、ソレガ爲ニ府縣會ノ決議セネバナラヌコトヲ遲延セシメタリ
或ハ其時ノ多數少數ノ實況ニ依リマシテ改正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ次ニ
會ヲシテ適當ナ決議ヲ爲サシメザルガ如キ狀況ガアルト云フコトモアル、又開イテモ直
デアリマスカラシテ是ハ本規定ヲ以テ、議長ノ開閉ニ關スル權利ニ制限ヲ付スルコトガ必
要デアラウト考ヘマシタノデ、其點ニ付キマシテ改正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ次ニ
府縣ノ組合制度ヲ設ケタノデアリマス、是ハ町村ニモ町村組合ガアリ、又市ト町村トノ組
合モアリマスガ、今日府縣ノ組合ハ無イノデアリマス、物ニ依リマスト府縣ニシマシテモ、
組合ヲ設ケル必要ガアラウト考ヘマシタノデ、其點ニ付キマシテ改正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ次ニ
府縣參事會員ノ選舉モ單記制ヲ採ルコトが適當ナリト認メマシテ、連記制ヲ改メテ單
記制トシタノデアリマス、ソレカラ其次ニ府縣參事會員ノ任期ニ變更ヲ企テタノデアリ
マス、今日ハ府縣會議員ノ改選每ニ之ヲ選舉スベシト云フコトガアリマシテ、即チ具體

院ノ如キ、學校ノ如キ、若クハ道路ノ如キモ、府縣組合ヲ設ケマシタラバ、必ズ利益スルコトガアラウト考ヘマシテ、府縣組合ノ制度ヲ設ケタノデゴザイマス、其他ニ付キマシ

テハ事務ノ簡捷ヲ期スル爲ニ、府縣行政ニ關シテ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中、輕易ナルモノハ許可ヲ要セザルコト、致シ、又場合ニ依リマシテハ委任ノ制度ヲ設ケルト云フヤウナ規定ヲ設ケルトカ、之ニ依リマシテ事務ノ煩雜ヲ來シテ居ルモノヲ簡捷ニスル爲ニ、此規定ヲ設ケタノデアリマス、各箇條ニ付イテハイロ／＼アリマスルガ、主タル點ハ以上述ベマシタモノデ、アトハ要スルニ市町村制ト規定ヲ一ニスル爲メ、其他今日解釋上ニ於テ疑義ヲ生ジ若クハ不備ト考ヘマシタ點ヲ直シマシタノデ、大體ノ趣意ハ以上申述ベタヤウナ次第デゴザイマス

○委員長(伯爵柳原義光君)

衆議院ノ修正ニハ御同意ニナッタノデスカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 衆議院ノ修正ガ餘計デハゴザイマセヌガ、數箇條ニ瓦ツテ居リマス、是ハ多クハ文字ノ不備ヲ補ツタノト、ソレカラ疑ヒガアルカラ斯ノ如ク書イタ方ガ明瞭デアラウト云フコトノ爲ニ、修正ニナッタノデアリマスカラシテ、之ニハ全然同意ヲ致シマシタ、唯實質ニ於テ違ツタル所ハ、六十五條ノ府縣參事會員ノ數ヲ原案ヨリ一人増シタ、六人トアルノヲ七名ニシ、八名ヲ十名ニシタト云フコトガ實質ノ修正ナンデゴザイマス、其他ハ文字ノ修正ト考ヘテ居リマス、同意イタシマシタ、デ府縣參事會員ノ六名ヲ七名トシタコトニ付キマシテモ、段々實況ニ付イテ研究ヲ遂ゲタノデアリマスガ、政府ニ於テハ初メ斯ウ云フ考ヲ有テ居ラナカッタノデアリマス、併シ衆議院ノ修正イタシマシタ理由ヲ聽キマスノニ、修正セムト云フ理由ヲ聽キマスノニ、此度ハ少數者ノ代表ヲ認メル制度ニナッタ、即チ府縣參事會員が單記ニナッタカラシテ、今マテノ如ク府縣會議員ノ多數ヲ占ムルモノガ、必シモ府縣參事會員ヲ多數出スノデハナイ、少數者ト雖モ府縣參事會員ヲ出スノデアル、サウスルト云フト、六名ト云フ風ニシテ置キマスルト事實ニ於テ府縣當局者、即チ知事が、常ニ少數者ノ意見ヲ採ルヤウナ傾向ヲ生ズル、御承知ノ如ク府縣參事會員中ニ、高等官が二名出テ居リマスノデアリマスカラ、ソレト少數者ガ一致シタル場合ニハ府縣知事ハ表決權ヲ可否同數デアラタ時ニハ表決權ヲ有チマスカラ、多ク少數者ノ方ニ當局者が傾キ得ルト云フコトニナルカラ、ソレハ甚ダ理由ノナイコトデアルト云フコト、ソレカラ一體六名ト云フノハ偶數デアルカラ奇數ノ方が宜イト云フ理由モアリマシタ、サウ云フヤウナ理由デ之ヲ一名増スト云フコトニ直ツタノデアリマス、其理由ハ必シモ完全ナル理由トモ認メマセヌガ、併ナガラ一面ニ於テ眞理モアルト考ヘマシタノト、一名増スト云フコトハ必シモ非常ナ不都合ラ生ズルコトモナシ、理由モアルト考ヘマシタノデ、是ニ付キマシテモ同意イタシタノデアリマス、尙ホ委シイ事ハ其條ニ參リマシテ御質問ガアレバ申シマス、大體サウ云フコトデゴザイマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 如何デスカ、本日モ午後ニ瓦リマシタカラ是デ散會イタシマス、明日ハ午後一時カラ開キマス

午後零時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳原 義光君

副委員長

小松原英太郎君

委員

子爵今城 定政君

一木喜徳郎君

谷森 真男君

政府委員

内務次官 水野鍊太郎君

内務省地方局長 小橋 一太君

清英君

大正三年三月二十日印刷

大正三年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局